

# 全国規模の大会を相次いで茨城で開催

by 長谷川修平 茨城県議会議員(日立支部)



## 第18回全国生涯学習フェスティバル大盛況

昨年10月、日立市をはじめとする茨城県において「第18回全国生涯学習フェスティバル」が開催され、県内外から81万人の来場がありました。全国で唯一、県立の生涯学習センターが5カ所あり、県内にバランス良く配置されています。特に、県北生涯学習センターは日立市との合併により利活用の充実が求められていた十王町役場を改築して今年の8月整備されたばかりで、合併後の庁舎の利用方法として注目されたものです。

この生涯学習フェアを皮切りに、相次いで全国規模の大会が毎年開催されます。4つの高速道路、4つの重要港湾とともに昨年つくばエクスプレスが開業し、平成21年度には空の玄関口となる百里飛行場が開港する予定です。どうぞこれを機に茨城へお越し下さい。皆様の御来県を300万県民がお待ちしております。



開催時期	名称	予定参加人員
平成19年11月10日13日	ねんりんピック 茨城 2007 (第20回 全国健康福祉祭 いばらき大会)	50万人
平成20年11月1日9日	常世の国 こくぶん祭 (第23回 国民文化祭 いばらき2008)	150万人
平成21年10月下旬	第47回技能五輪 全国大会	15万人

議員活動レポート

## 日立グループ議員団 幹事長



秦野市議会(神奈川支部) 山口 金光

新年明けましておめでとうございます。

皆さまのこの1年のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお祈り致します。

昨年は、ライブドア事件や北朝鮮の地下核実験問題をはじめ国内外を揺るがす出来事の多かった騒々しい1年となってしまいました。

特に、県知事など首長、公務員が関与した不祥事や児童・生徒のいじめが原因の自殺の多発は市民に大きな憤りと衝撃を与えました。

また、高齢化率は、昨年ついに21%を超え、イタリヤを抜いて世界一になるなど我が国が戦後築いてきた社会保障制度は破綻寸前となっており、さらに現役層の減少や所得の業種間・世代間・地域間格差の拡大が懸念されています。

幹事長の主張

「世直し」に果敢に挑戦しよう  
流れを変える一年に

大がこれに拍車をかけています。

このように様々な課題を抱えたまま迎えた新年ですが、今年は是非この流れを変える1年にしていきたいと思っております。

「1年先を楽しむ者は花を植えよ。10年先を楽しむ者は木を植えよ。100年先をおもんばかりの者は人を育てよ」という言葉があります。政治だけでなく会社生活や地域生活にも通じるこの言葉を皆さまと共有し、「世直し」に果敢に挑戦しようではありませんか。

今年は、私たちの仲間が統一自治体選挙や参議院選挙など各級選挙に挑みます。勤労者・生活者の声を政治に反映し、国民本位の政治を実現するために皆さまの力強いご声援と格段のご支援をよろしくお願い致します。

## 当選御礼

ご支援ありがとうございました

- 胎内市議会 渡辺 宏行 (産機システム中条)
- 大山崎町議会 江下 伝明 (マクセル京都)
- 茨城県議会 長谷川修平 (日立支部)
- 今 一男 (国分支部)
- 佐々木忠男 (水戸支部)

日本国を再建し、正常な日本社会を取り戻すための闘い

2007政治決戦 第21回参議院議員選挙

電機連合公認候補

若林ひでき 再選に全力を!



# 日立グループ議員団だより

ホームページアドレス <http://www.hitachi-gr-giindan.jp/>

おけまして新年  
謹賀新年  
おめでとうございます



日立グループ議員団会議 会長 衆議院議員 大島 章宏



## さー、がんばろう参院選

### 「若林ひでき」候補必勝で、正常な日本を取り戻そう

皆さん、明けましておめでとうございます。昨年も、温かいご支援を頂きありがとうございました。

さて、昨年9月、小泉純一郎政権から安倍晋三政権に代わりました。5年半にわたる小泉政権は、競争社会と格差社会を拡大させ、国民負担を約8兆9千億円増やし、三位一体改革と称するごまかし改革により、地方自治体の財政はさらに厳しい状況に追い込まれ、将来不安をさらに強めています。非情なる「劇場型政治」を展開した小泉政治により、日本古来の「寛容の精神」は失われ、何をやるかとしてきているのか、一体どのような社会と国を目指すのかさえ曖昧になっています。その小泉政治を踏襲して誕生したのが安倍政権です。今年7月の参院選対策のために、「造反議員」に「郵政改革賛成」の念書を無理やり書かせ復党させると言う姑息な手段。自民党内ではそれで済むのかもしれないが、「郵政民営化反対」という候補の言葉を信じて投票した有権者の意思はどうなるのでしょうか。本来であれば、復党した議員の選挙区ではもう一度選挙をやり

直すのが筋でしょう。

さて、12月10日投票で茨城県議会議員選挙が行われました。働く仲間の皆さんや市民の皆さんのご支援を頂き、日立市の長谷川修平候補、今一男候補、そして、ひたちなか市の細田武司県議の後継者として出馬した佐々木忠男候補も当選を果たしました。さらに、水戸市では、佐藤光男候補が健闘しトップ当選と言う輝かしい成績で、初めての議席を確保することができました。また、取手市の川口浩候補、土浦市の青山大和候補の当選も見事でした。無投票当選の推薦候補の常井洋治議員と合わせて7人が当選。その他4候補も皆さんもご支援を頂きながら、全力で戦いましたが、残念な結果に終わりました。皆さんのご支援に感謝申し上げます。

さて、いよいよ、統一地方選挙です。日立グループの候補者の全員当選目指してがんばりましょう。さらに、7月の参院選では、「格差社会」の拡大と国民生活不安を増大させている自民党政治を一掃し、与野党逆転を果たすこと

が必要です。電機連合の仲間である「若林ひでき」さんへのご支援をお願いいたします。

民主党結党の原点である「生活者・消費者・納税者」の立場に立ち、「まじめに働くものが報われる公正な社会」の実現めざし、今年も全力でがんばります。ご支援と力添えのほどよろしくお願い致します。

1. 公認・準公認候補					
石野正美	現 民主党	日立市議会	(日立支部)	4月22日	
青木俊一	現 無所属	日立市議会	(日立支部)	4月22日	
齋藤英彰	新 無所属	日立市議会	(大みか支部)	4月22日	
西川光世	現 民主党	日立市議会	(日研分会)	4月22日	
伊藤健也	新 無所属	日立市議会	(H&L多賀)	4月22日	
牧野一吉	新 無所属	尾張旭市議会	(旭支部)	4月22日	
和田正美	現 無所属	かずみがうら市議会	(日立建機)	1月21日	
松本敏	現 民主党	横浜市議会	(ソフト支部)	4月8日	
村田悦雄	現 無所属	日立市議会	(日立化成)	4月22日	
大庭弘美	新 無所属	日立市議会	(日立電線)	4月22日	
椎名敦史	現 民主党	日立市議会	(HES)	4月22日	
松本貢市郎	現 無所属	熊谷市議会	(日立金属)	4月22日	
山崎篤	現 無所属	沼津市議会	(A E沼津)	4月22日	
2. 推薦候補					
増山利雄	現 無所属	栃木市議会	(H&L栃木)	4月22日	
帯包文雄	現 無所属	習志野市議会	(産機システム)	4月22日	



日立市議会 齋藤英彰候補 (大みか支部) <新人>



日立市議会 伊藤健也候補 (H&L多賀) <新人>



尾張旭市議会 牧野一吉候補 (旭支部) <新人>



日立市議会 大庭弘美候補 (日立電線) <新人>

## 日立グループ議員団活動方針 (議員団の心得5原則)

1. 日立グループ議員団の一員であることの自覚を常に堅持すること。
2. 政治活動は、日立グループ連合、日立労組の運動方針を基本とすること。
3. 電機連合をはじめ、支援組織との連携に努力すること。
4. 住民との対話を深め、地域活動を活発に展開すること。
5. 常に研鑽に励み、清潔な姿勢を貫き、住民の信頼を高めるようにつとめること。

## 交通渋滞のない日立市をめざして

by 村田 悦雄 日立市議会議員(日立化成・山崎)



### 海岸線道路の事業化をめざす

日立市の道路交通事情は、南北28kmにわたる細長い地形と太平洋と阿武隈山地に挟まれたごくわずかな平野部の特徴から、慢性的な交通渋滞が発生しています。

このため、市民の関心は交通渋滞の解消を望む声が多く、現在進められている6号国道日立バイパスの早期完成とともに、その先線の事業化に大きな期待が寄せられています。

6号国道日立バイパスは、昭和59年に10.4kmの都市計画が決定されましたが、事

業が進んでいる区間は、平成19年度に開通を予定している4.7kmで、残りはいまだ事業化のメドが立っていない状況にあります。

海岸線に橋脚を立て道路を作るという大掛かりな工事のため、事業化に結びついていない現状がありますが、近年、計画から20年が経過し、土地利用の形態も変わっていることから都市計画の見直しを提案し、その後の検討により国・県・市の三者の見解が一致し、新たな展開を見せています。



6号国道バイパス 工事中の

道路特定財源の一般財源化や住民合意形成などへの対応も必要になってきますが、日立市の最重要課題ととらえ国会議員・県議員と連携を図りながら早期事業化に向け努力してまいります。

## 電力の安定供給のために

by 馬目 暢之 東海村議会議員(日立支部)



### 「プルサーマル計画」への東海村の対応

#### ■プルサーマルとは

原子力発電に用いられている軽水炉において、燃料としてプルトニウムとウランの混合燃料を用いていることを「プルサーマル」と呼びその燃料を「MOX燃料」と呼んでいます。すでに、海外では、57基（現在37基実施中）の使用実績があります。日本でも実証試験で「ふげん」や「関電美浜1号機」「日本原電敦賀1号機」に使用実績があります。なお、九州電力玄海原子力発電所や四国電力伊方原子力発電所は、「プルサーマル計画」の許可が得られました。

#### ■東海村の考え方

日本原電東海第2発電所の「プルサーマル計画」について、技術的に何も問題はありませんが、柏崎、福島原発で発生した諸問題が明確になるまでは、東海村への導入は考えていません。また、日本原子力発電会社からは、正式な申し入れの話はありませんが、東

海村としても「プルサーマル計画」について何らかの結論をだしていくために9月定例議会で勉強会のための予算計上をするなど検討段階に入っています。

#### ■プルサーマルの必要性

資源のない日本では、原子力を「夢のエネルギー」として今日まで取り組んできました。また、エネルギーの安定供給および地球環境問題の対応を考えると、今後も原子力政策を進めていかなければなりません。日本のエネルギー自給率は先進国4%と最も低く（原子力を国産した場合16%）、総発電電力量では原子力の比

海外におけるプルサーマルの現状と実績

国名	現状(2005年未現在)		これまでの実績	
	運転中の軽水炉(基)	プルサーマル実施中の軽水炉(基)	プルサーマルを実施した軽水炉(基)	2005年までのMOX燃料装荷体数(体)
フランス	58	20	21	2466
ドイツ	17	10	15	2012
ベルギー	7	2	3	313
スイス	5	3	3	308
米国	103	1	7	95
イタリア	0	0	2	70
インド	2	0	2	10
オランダ	1	0	1	7
日本	54	0	2	6
スウェーデン	10	0	1	3
合計	257	36	57	5290

出展：2005年度版「世界の原子力発電開発の動向」

率が30%強を占めています。その中で、日本は核燃料サイクルを着実に推進する意味合いから「プルサーマル計画」が必要とされています。

我が国で軽水炉を用いて行われたMOX燃料の健全性実証試験

	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年
美浜1号機					使用					照射後試験	
敦賀1号機			使用						照射後試験		

出展：関西電力HP

## 人・物・情報の交流拠点として

by 西野宮照男 ひたちなか市議会議員(佐和支部)



### 『常陸那珂港』平成22年を完成めざし建設中

開設した北ふ頭 内・外貿易の定期航路も



『常陸那珂港』は、平成22年を完成目標年として現在建設中で、完成すると北・中央・南の3つのふ頭を持つ、北関東の物流拠点となる国際流通港湾となるものです。

北ふ頭においては、平成10年には内貿パー

スが、平成12年には外貿パースの供用が開始されました。平成18年には、中央ふ頭にRORO船(\*1)用としては国内最大級の水深9mの大型複合一貫輸送ターミナル(\*2)が整備されることになり、平成20年度中を完成目標として、11月に起工式が行われました。

これらの港湾整備と継続した企業誘致活動により、国内の大手建設機械メーカーのコマツは平成19年1月、日立建機は平成19年に部品工場、平成20年組立工場の稼働をめざし進

出することになりました。

陸上輸送については、現在一部供用を開始している北関東自動車道(全長約150km)が平成21年度には東北自動車道、平成23年度には関越自動車道と接続予定で、全線開通すると水戸～前橋間が従来の半分の1時間50分程度で結ばれます。

これら常陸那珂港を中心とした地区への大手企業進出や自動車道整備により、『ひたちなか市』が人・物・情報の交流拠点として、益々発展するよう日新クラブとしても進めてまいります。

(\*1)RORO船：トレーラーが直接船に乗り入れることが出来る船

(\*2)複合一貫輸送：一つの荷物が海上輸送と陸上輸送を組み合わせる最終目的地まで一貫して輸送すること

## 市民融和と交流促進を図る

by 和田 正美 かすみがうら市議会議員(日立建機)



### 福祉バス路線網を新設

私たちの地域は、平成17年3月に「霞ヶ浦町」「千代田町」2町の合併により、「かすみがうら市」として新規行政運営が実施されております。

地域ごとの生活環境、行政運営手法の違いを相互に理解しながら、合併後の全市民の意識・行動の一体感を醸成すべく各分野において検討・試行・状況把握等の努力をしているところです。

市民サービス充実等の行革の取組みとしては各分野において多々ある中、身近な取り組みの一つとして、市内各地域を巡回する福祉バス路線網を新設し、この10月1日から、コミュニティー施設の利用拡大を図ると共に、

公共施設利用の共有化を推進しながら市内全域の市民融和・交流を促進しています。

その他、市民主導で、文部科学省が推奨展開の「地域総合型スポーツクラブ」を基本と

した、文化クラブを含めた形での「地域総合型クラブ」の設立に向けた準備が推進されています。

今後も、新しいまちづくりに向けた、官民の「協調・協力・協働」活動をより一層推進していきたいと考えています。



福祉バスをはじめとして、「協調・協力・協働」

## 幼稚園児と保育所児を合同保育(幼保一元化施設)

by 帯包 文雄 習志野市議会議員(産機システム)



### 子育て・子育て支援の拠点こども園スタート

千葉県内初となる幼稚園、保育所の合同保育や地域の子育て支援の中核となる「こどもセンター」の併設など、少子高齢社会の子育



少子高齢社会の子育てに 東習志野こども園

てに新たな役割を果す東習志野こども園が昨年4月1日オープン。新設のこども園は、短時間児(幼稚園児)は4・5歳各60人、長時間児(保育園児)は零歳12人、1・2歳各24人、3～5歳各30人の計270人、また短時間児への対応として、教育時間後最大午後5時までと夏季などの長期休業期間中の午前9時から午後5時まで、保護者の希望で預かり保育にも対応。併設のこどもセンターは、子育て支援サービスを多角的に提供していく。センター開放日の午前9時から午後4時まで、在宅

児を中心に30組60人の保護者と児童を受け入れ、遊び場の提供のほか各種講座、相談を実施。子育てネットワークの中心として情報の収集と発信もしていく。一時保育は一日15人程度の受け入れ。

将来の地域を支える大切な子どもたちが、輝いて育つことのできるまちづくりのために、こども園が子育て・子育ての地域拠点として、その役割が果すことができるよう、この新たな保育スタイルの定着には、官・民・市民との情報の共有等関係者の支援体制の構築が求められている。

## 地域拡大で、住民ニーズも多様化

by 田淵 秀喜 安来市議会議員(日立金属安来)



### 合併新生「安来」誕生から2年

5年半続いた小泉内閣によって断行された歴史的な政治改革により、安来市も1市2町が合併し新生安来市として誕生して2年が経過しました。

当地は日本でもトップクラスの過疎化・高齢化が進む地方都市であり、合併による住民の期待感とは裏腹に、厳しい現実を突きつけられる状況となっています。

特に、財政状況は地方分権と自主財源確保という三位一体改革の本来の趣旨から大きくかけ離れ、地方交付税等の国の援助施策はことごとく縮小され、これまで実施してきた特色ある行政サービスを提供することすら困難

な状態に陥っています。

一方、合併前から計画され進行中である事業をみると、「交流拠点と併合した安来の玄関口である駅舎整備事業」、「新市庁舎建設事業」、「工業団地造成事業」、「公園整備事業」等々、大型ハード事業が進められており、その必要性は当市の将来を見据えたものであることから一定の理解はできるものの、市民感情としては財政と施策に相反する違和感をおぼえずにはいられない状況にあります。

従って、適時的確な情報公開と市民との直接対話方式による説明・議論が極めて重要で

あると考えており、組織・市民の代表、代弁者である議員として、安来市に働く者の唯一の組織である安来市労働者福祉協議会との連携を更に強固にし、市民、行政が一丸となった安来市らしい改革を進めていきたいと考えます。特に、地域が拡大したことにより町部、山間部によって住民ニーズの差異が拡大しており、これまでのような統一的な施策だけでは効果に繋がりません。それぞれの地域の特色・文化を活かした施策を住民の皆さんと共に考え、取り組んでいきたいと考えています。

今後ともご支援ご協力をお願い致します。